



Water in Okinawa

企業局概要

沖縄の水



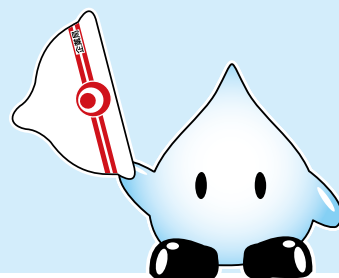
 沖縄県企業局

もくじ

沖縄の自然と沖縄本島の水事情	2
企業局事業概要	3
供給量の推移	3
水源別取水量	4
市町村等別供給量	4
企業局の水源と水道施設	5
沖縄工業用水道事業施設	7
沖縄本島のダム	8
企業局主要施設	9
水づくりの流れ	11
安全で安心な水のために	12
さらに進んだ水づくり	13
企業局主要事業	15
連続給水満 20 年を迎えて	17
環境への取組	17
平成 26 年度予算	18
平成 25 年度決算	19
企業局組織一覧	21

沖縄県企業局は、県民の皆さまに**安全**で**安心**な**水**をお届けします。

企業局では、市町村等に水道用水を供給する「水道用水供給事業」と、製造業を中心とした企業等に工業用水を供給する「工業用水道事業」を行っています。企業局は、これからも様々な取組をとおして、安全で安心な水の安定供給に努めます。





沖縄の自然と沖縄本島の水事情



(写真) 大宜味村平南川中流付近

沖縄の河川は、本土の河川と比較すると勾配が急で、流域面積が小さいという特徴があります。

沖縄は160の島々からなる島しょ県で、大きな河川や湖などの水源に恵まれていないことに加えて、降水量は年や季節によって大きく変化するため、水を安定的に確保することが困難な自然環境にあります。

終戦後の1946年(昭和21年)、約51万人だった沖縄県の人口は、本土復帰時の1972年(昭和47年)には約96万人、2013年(平成25年)には約142万人になり、復帰直後と比較すると約1.5倍に増えています。

沖縄本島の水源は北部と中部にあります。また、水源の大部分を占める北部の河川水とダム水は、県の人口の約80%が集中する、中部と南部の消費地へ送っているのが特徴です。

沖縄の気候は亜熱帯海洋性であり、気温は平均23.3度と1年を通じて温暖です。

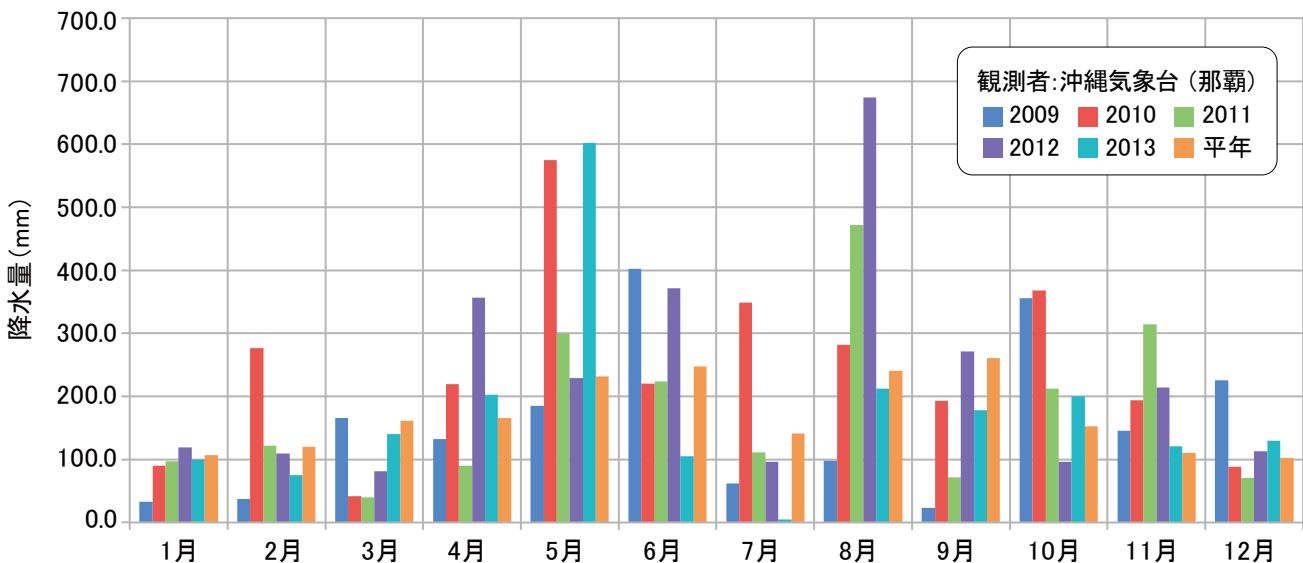
年間降水量は、約2,207mm(那覇)で、全国平均約1,604mmを上回っており、全国でも比較的雨量の多い地域です。

しかし、人口密度が高いために、沖縄の年間の1人あたりの水資源賦存量は、約1,800 m³/人・年であり、全国平均3,223 m³/人・年の約56%にすぎません。

また、年間降水量の大半が5月・6月の梅雨期と、不定期に発生する台風の襲来時に集中しているため、水を安定的に確保するには厳しい環境となっています。

(注) 水資源賦存量とは、降水量から蒸発散によって失われる量を差し引いた量に、当該地域の面積を乗じた値で、水資源として、理論上人間が最大限利用可能な水の量を表します。地域によって自然条件から利用可能な水の量は異なりますが、その違いを水資源賦存量によって知ることができます。

月別降水量



資料

* 沖縄県の人口は沖縄県ホームページより
 * 気温は気象庁沖縄気象台(沖縄地方の天候(2013年))より
 * 年間降水量は平成26年度版『日本の水資源』(最近10年間の年降水量の経年変化)

* 水資源賦存量は平成26年度版『日本の水資源』(地域別降水量及び水資源賦存量)
 * 月別降水量グラフデータは気象庁沖縄気象台(平年値は1981~2010年の那覇の平均値)



企業局事業概要

水道用水供給事業

水道用水供給事業とは、市町村等へ水道用水を広域的に供給するもので、いわば、水の卸売り業の役割を果たしています。家庭や学校などの地域社会に直接給水を行うのは市町村の事業です。

本島のほとんどの市町村は、独自の水源を持たないことから、企業局がダムや河川などから取水し浄水処理した上で、これらの市町村に水道用水を供給しています。

平成 25 年度は、沖縄本島北部の比較的水源に恵まれた国頭村、大宜味村、東村、宜野座村を除く本島 22 市町村と伊江村に、1日あたり約 41 万 9,400m³ の水を供給しました。

※本島 22 市町村には、南部水道企業団の南風原町と八重瀬町を含みます。

工業用水道事業

工業用水道事業とは、産業振興を図るため製造業を中心とする企業等に対して工業用水を供給するものです。

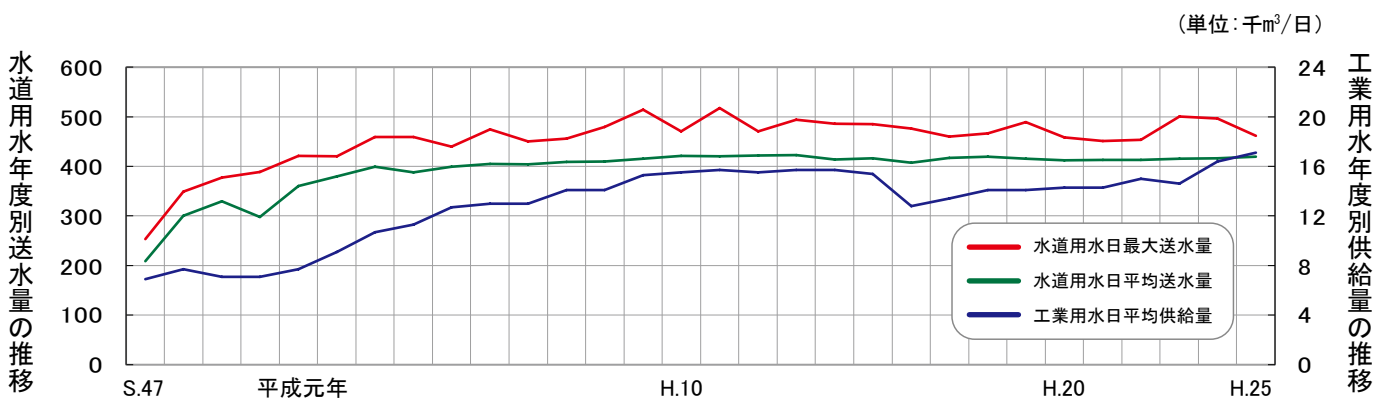
企業局は、本島北部のダムの水を久志浄水場で沈でん処理（一次処理）したあと、主に中南部へ立地する事業所へ送水し、企業の生産活動を側面から支援しています。

平成 25 年度は、金武湾や中城湾港新港地区及び糸満市の工業団地等にある 94 の事業所に、1日あたり約 1 万 7,100m³ の工業用水を供給しました。

※なお、水道用水供給事業の料金は 1m³ あたり 102 円 24 銭、工業用水道事業の料金は 1m³ あたり基本料金が 35 円、超過料金が 70 円でそれぞれ消費税を加えた金額となっています。



供給量の推移



年度		昭和 47年	50	53	56	59	平成 元年	5	10	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
水道用水	日最大送水量 千m ³ /日	253.0	348.6	377.5	388.5	421.2	420.4	474.9	470.2	485.4	476.3	460.2	466.5	489.4	458.2	450.9	453.7	500.6	496.6	461.7
	日平均送水量 千m ³ /日	208.8	300.0	329.5	297.6	360.4	380.0	405.3	421.1	416.0	407.6	416.8	419.2	415.4	412.1	413.1	413.2	415.1	416.2	419.4
工業用水	日平均供給量 千m ³ /日	6.9	7.7	7.1	7.1	7.7	9.1	13.0	15.5	15.4	12.8	13.4	14.1	14.1	14.3	14.3	15.0	14.6	16.4	17.1
	事業所数	1	1	10	14	18	26	37	61	78	78	85	90	90	90	90	91	93	93	94

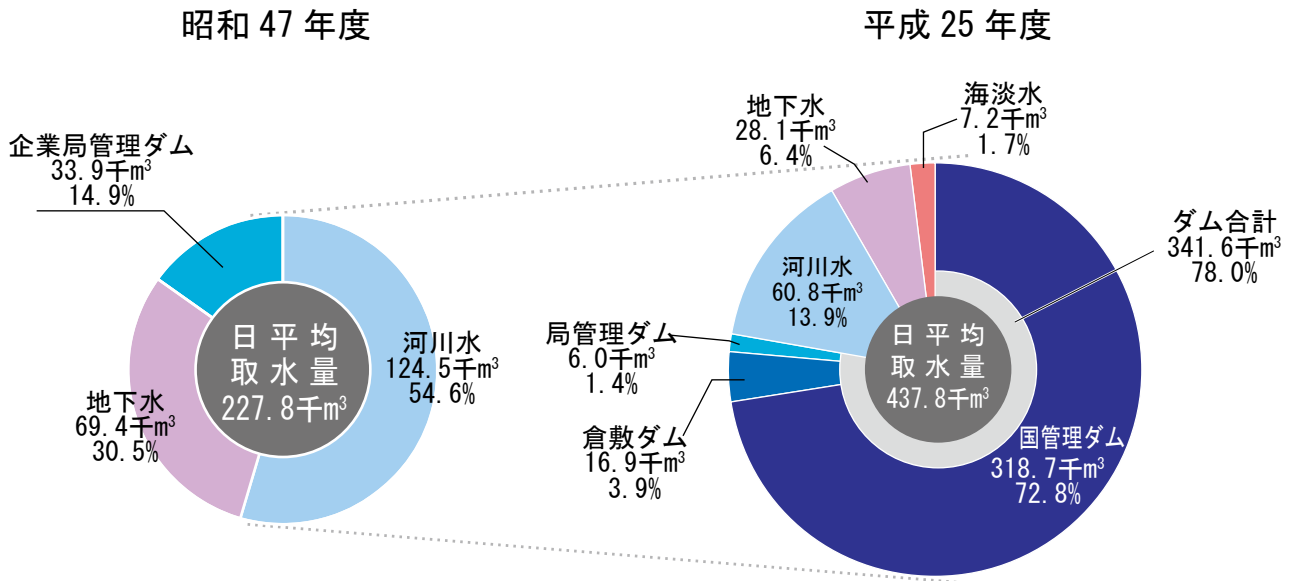
※工業用水供給先の事業所数は、各年度末日時点で供給を行っている事業所数です。



水源別取水量

企業局の水源は、ダム、河川水、地下水、海水淡水化水の4種類からなっています。そのうち、ダムからの水が最も多く、1日あたりの取水量 43 万 7,800m³ (平成 25 年度実績) の 78%にあたる 34 万 1,600m³ となっています。次に多いのが河川水で 6 万 800m³ (13.9%)、それに地下水が 2 万 8,100m³ (6.4%)、海水淡水化水が 7,200m³ (1.7%) となっています。

昭和 47 年度と比べると取水量が約2倍に増え、本土復帰後、ダム開発が進められてきたことなどから、水源別取水量の割合も大きく変わってきています。



※数値は端数処理のため一致しない場合があります。



市町村等別供給量

(単位：千m³/年)

市町村名	項目	平成25年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
那覇市	市	38,567	25.5%	昭和47年5月15日
沖縄市	市	20,759	13.8%	〃
宜野湾市	市	10,363	6.9%	〃
浦添市	市	13,652	9.0%	〃
読谷村	村	4,818	3.2%	〃
南部水道企業団		6,388	4.2%	〃
嘉手納町	町	1,582	1.0%	〃
北谷町	町	4,114	2.7%	〃
北中城村	村	3,044	2.0%	〃
豊見城市	市	6,301	4.2%	〃
与那原町	町	1,953	1.3%	〃

市町村名	項目	平成25年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
中城村	村	2,067	1.4%	昭和47年5月15日
西原町	町	4,244	2.8%	〃
名護市	市	2,107	1.4%	〃
糸満市	市	6,525	4.3%	〃
本部町	町	364	0.2%	昭和50年6月10日
今帰仁村	村	533	0.4%	昭和50年7月12日
伊江村	村	625	0.4%	昭和52年2月1日
恩納村	村	2,838	1.9%	昭和52年7月20日
金武町	町	1,178	0.8%	平成元年10月1日
うるま市	市	14,333	9.5%	昭和47年5月15日
南城市	市	4,633	3.1%	〃
小計		150,988	100.0%	

注 1) 南部水道企業団は、八重瀬町(旧東風平町、旧具志頭村)と南風原町により構成されています。
(※平成 20 年 4 月より南城市(旧大里村)を除く。)

注 2) うるま市、南城市は合併前の構成市町村の給水開始年月日を掲載しています。



企業局の水源と水道施設

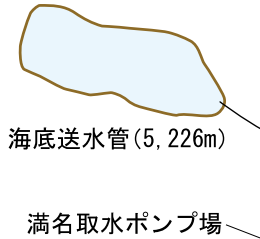
沖縄本島は南北に細長く、北部地域の水源と中部・南部の消費地が遠く離れていることから、他府県と比べると導送水管などの管路が長いから、増圧ポンプ場や調整池などの多くの水道施設が設置されています。また、小規模な水源から水を確保するため、河川水や地下水から取水するためのポンプ場が多いのも特徴です。



山里第1調整池(沖縄市)



比謝川取水ポンプ場(嘉手納町)



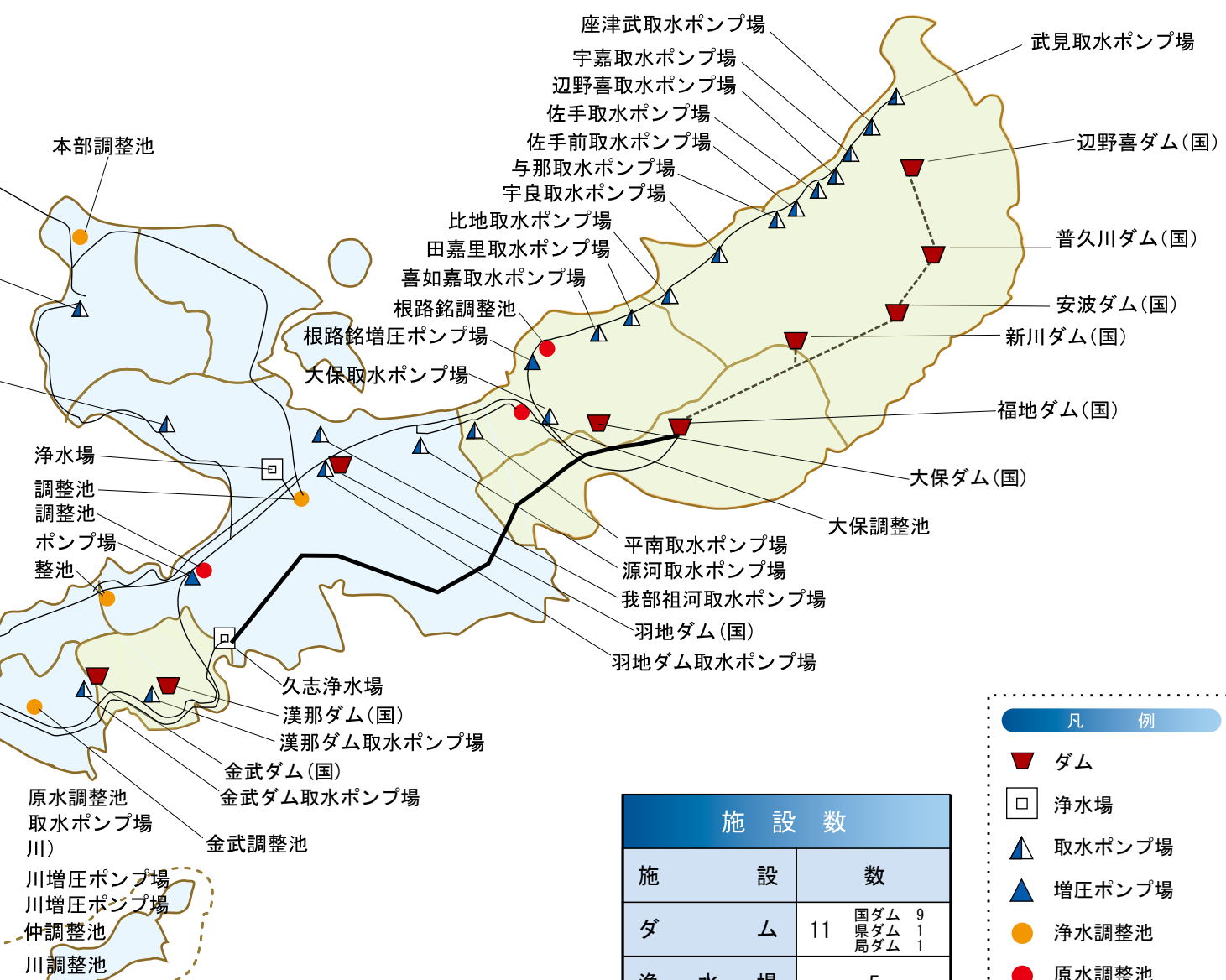
具志川調整池(うるま市)

具志川調整池は、建設地が公園内にあることから、地元の方々が利用できるように調整池上部の開放や景観に配慮した施設となっています。



西屋部取水ポンプ場





- 凡 例
- ▼ ダム
 - 浄水場
 - ▲ 取水ポンプ場
 - ▲ 増圧ポンプ場
 - 浄水調整池
 - 原水調整池
 - 井戸群
 - 水質浄化施設
 - 硬度低減化施設
 - 海水淡水化施設
 - 導送水管
 - 導水路トンネル
 - 調整水路トンネル
 - 市町村境界線
 - 給水区域

施設数	
施設	数
ダム	11 <small>国ダム 9 県ダム 1 局ダム 1</small>
浄水場	5
取水ポンプ場	25
増圧ポンプ場	12
調整池	32 <small>浄水調整池 24 原水調整池 8</small>
井戸群	23井
海水淡水化施設	1
水質浄化施設	1
硬度低減化施設	1

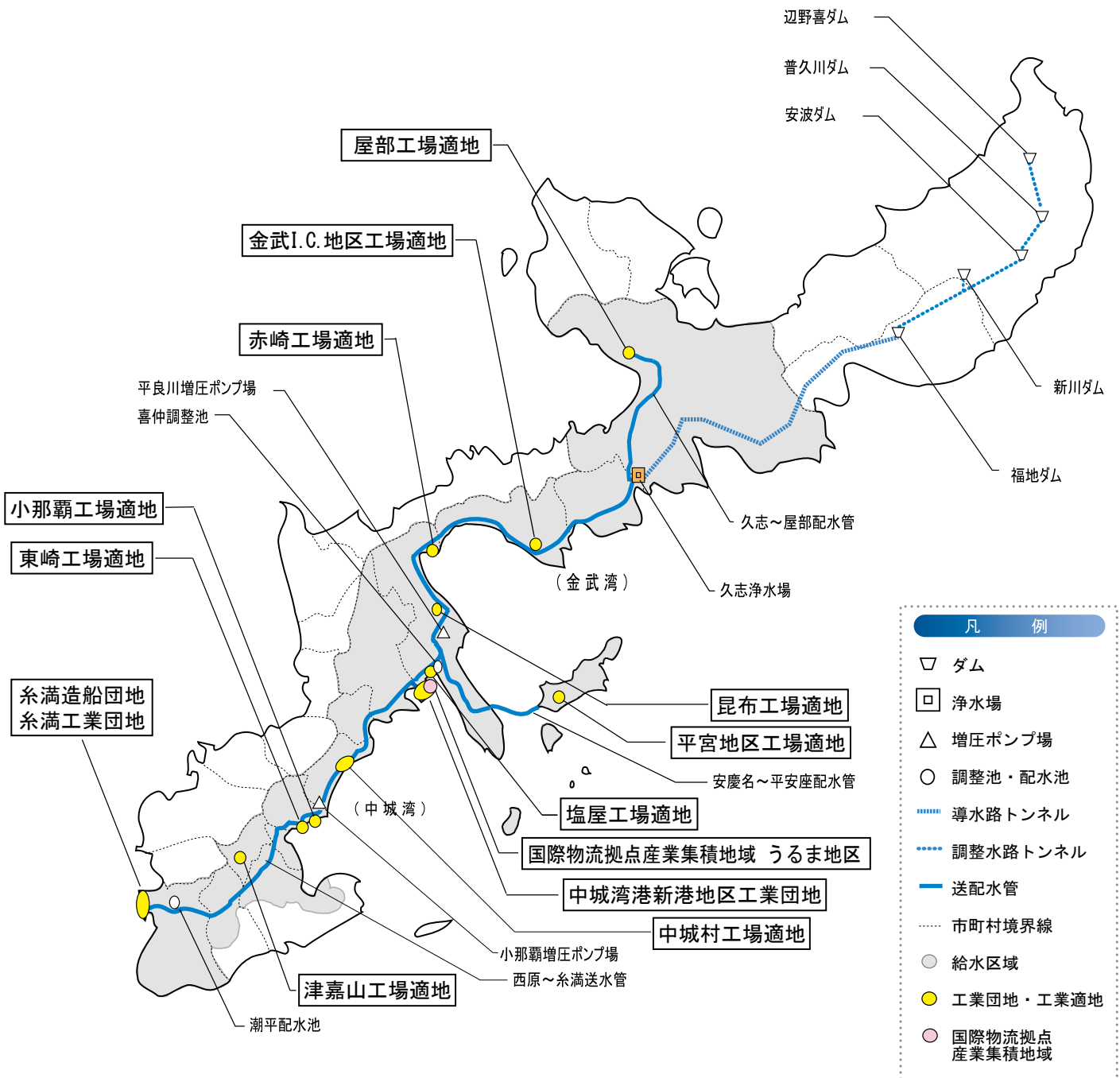


沖縄工業用水道事業施設



中城湾港工業団地

沖縄工業用水道事業は、水源を本島北部の多目的ダム群に求め、給水区域となる13市町村(名護市、宜野座村、金武町、うるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、南風原町、与那原町、南城市、八重瀬町、糸満市)に立地する事業所に対し、工業用水の供給を行っています。



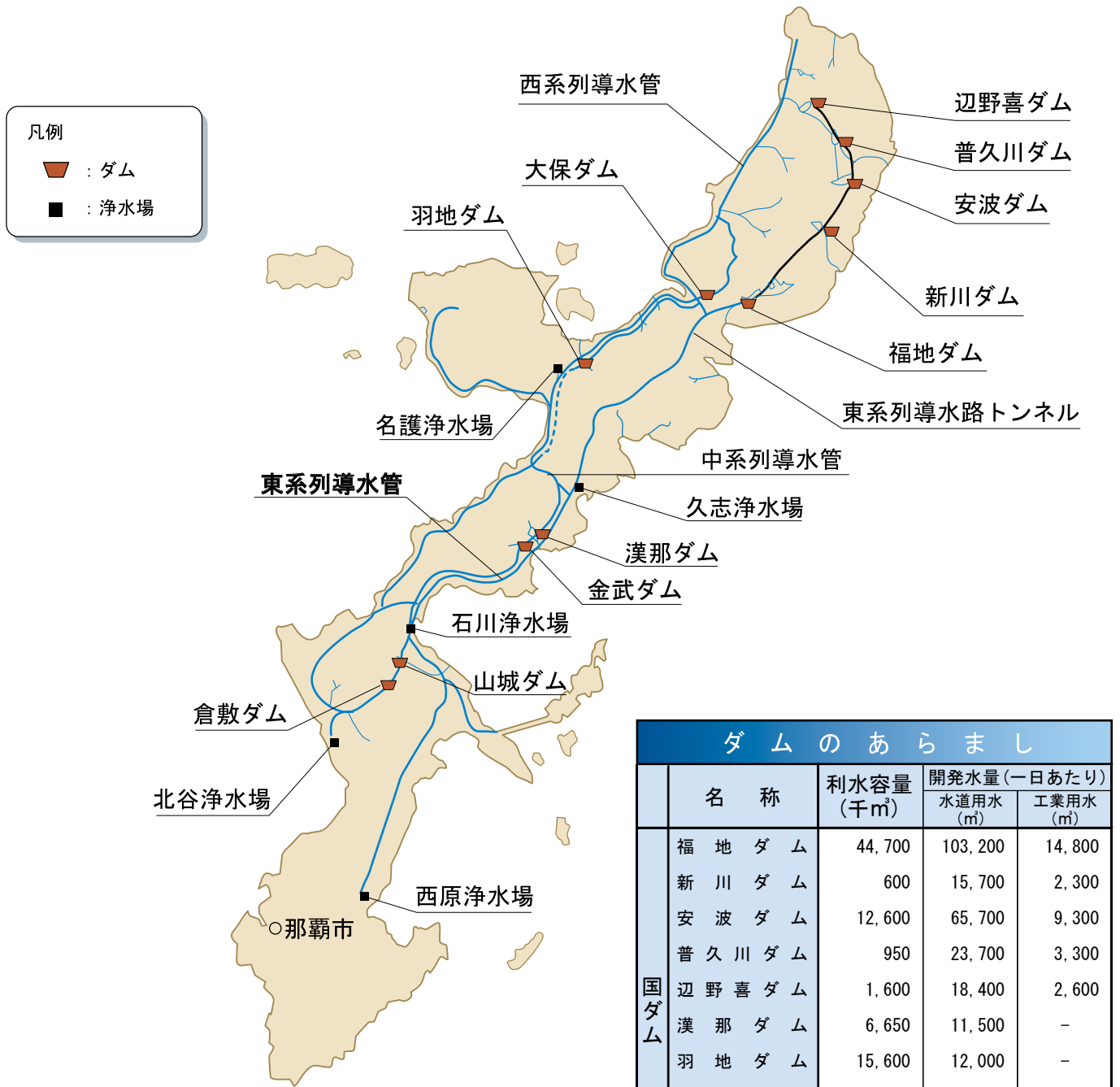
※ 南城市における給水区域は旧佐敷町及び旧大里村、八重瀬町は旧東風平町の区域に限られます。



沖縄本島のダム

国や県では、本県の厳しい水事情を緩和するため、ダムの建設を進めてきました。

沖縄本島内にはこれまでに、福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、羽地ダム、大保ダム、金武ダム（国）、倉敷ダム（県）、山城ダム（企業局）の11のダムが完成しています。



ダムのあらかし				
	名称	利水容量 (千 m^3)	開発水量(一日あたり)	
			水道用水 (m^3)	工業用水 (m^3)
国 ダム	福地ダム	44,700	103,200	14,800
	新川ダム	600	15,700	2,300
	安波ダム	12,600	65,700	9,300
	普久川ダム	950	23,700	3,300
	辺野喜ダム	1,600	18,400	2,600
	漢那ダム	6,650	11,500	-
	羽地ダム	15,600	12,000	-
	大保ダム	17,200	94,800	-
	金武ダム	5,360	10,300	-
	計	105,260	355,300	32,300
県 ダム	倉敷ダム	5,900	50,600	-
	山城ダム(局)	1,190	7,600	-
	計	7,090	58,200	



企業局主要施設

久志浄水場

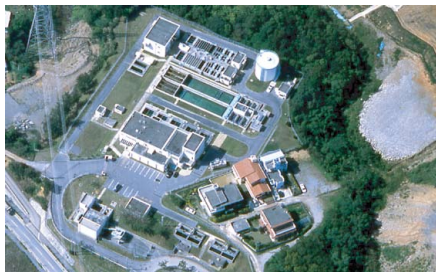


久志浄水場は、名護市東海岸にあり、1日あたりの処理能力35万1,400m³を有する県下最大の上水道と工業用水道の共同施設となっています。

供用開始は昭和50年度、水源は国管理の北部ダム群及び北部河川で、同浄水場で沈んでん処理した水は、一部を工場へ工業用水として供給するとともに、石川・北谷・西原浄水場へ上水道の原水として送水しています。



名護浄水場



名護浄水場は、本島北部の名護市にあり、昭和50年に1日あたりの処理能力1万4,000m³の施設として建設されました。その後の水需要に対応するため、平成7年度には1日あたり2万7,000m³の施設となっています。

水源は、主に平南川や源河川で、名護市をはじめ、北部の5市町村へ供給しています。

供給先市町村： **本部町・今帰仁村・名護市・恩納村・伊江村**

石川浄水場



旧石川浄水場は建設後40年以上が経過し、老朽化や水需要増大等に対処するため、新たに建設した石川浄水場が平成23年11月から供用を開始しました。

石川浄水場は、1日あたり16万5,600m³の水道用水を供給することができ、また、トリハロメタン低減化対策や今後の水源水質に適切に対応するため、平成26年8月からは、オゾン処理を除く高度浄水処理施設も供用開始しています。

久志浄水場の処理水と漢那ダム、山城ダム及び北部河川水を水源とし、うるま市をはじめ、主に中部と南部の14市町村へ供給しています。

供給先市町村： **金武町・恩納村・読谷村・嘉手納町・うるま市・沖縄市・北中城村・中城村・西原町・那覇市・豊見城市・糸満市・南風原町・八重瀬町**

(うち、南風原町と八重瀬町の2町は南部水道企業団に対して供給する)

※各市町村の地区によっては、供給元の浄水場が異なることもあります。



水質管理事務所



水質管理事務所は、石川浄水場内に併設されており、安全で安心して飲める水を供給するため、浄水及びダム水、河川水などの原水の検査を行っています。

また、名護・石川・北谷・西原の各浄水場には水質担当者を配置しており、各浄水場で生産された浄水を検査し、安全性を確認しています。

北谷浄水場



北谷浄水場は、本島中部の北谷町にあり、昭和 62 年に供用開始され、現在 1 日あたり 24 万 7,300m³ の送水能力を持ち、水道用水では県下最大規模の浄水場です。また、オゾン・活性炭処理の高度浄水処理施設を有しています。

また、水道水の安定供給を図る目的で、海水淡水化施設が平成 5 年度から着工され、平成 9 年の 4 月から 1 日あたり 4 万 m³ の海水淡水化水をつくる国内最大級の施設として供用を開始しました。

さらに、硬度平準化対策の一環として硬度低減化施設が、平成 15 年 6 月から供用を開始し、硬度を低減した水を供給することが可能となりました。

水源は、西系列河川、中部河川、倉敷ダム、嘉手納井戸群等で、各処理工程を経て浄水された水と海水淡水化水をブレンドして、浦添市をはじめとする、中部と南部の 7 市町村へ供給しています。

供給先市町村： 北谷町・沖縄市・北中城村・中城村・宜野湾市・浦添市・那覇市



西原浄水場



西原浄水場は、本島中南部の西原町にあり、昭和 52 年 6 月に 1 日あたり 4 万 100m³ で一部供用を開始しました。その後の 4 期にわたる増設工事で、昭和 55 年 3 月から 1 日あたり 16 万 500m³ の処理ができるようになりました。

同浄水場は、福地ダム等の北部ダム群を水源とし、久志浄水場で沈でん処理された原水を浄水処理して、那覇市をはじめとする、中部と南部の 9 市町村に供給しています。

平成 17 年 6 月には、喜仲調整池（標高 68.0m）からの原水の落差エネルギーを利用した小水力発電設備も設置され、その電力は浄水場で有効利用し、電力費と環境への負担軽減を図っています。

また、場内には 1 日あたり 5 千 m³ の工業用水専用の増圧ポンプ場があり、主に糸満工業団地へ供給しています。

供給先市町村： 那覇市・浦添市・与那原町・西原町・南城市・豊見城市・糸満市・南風原町・八重瀬町
（うち、南風原町と八重瀬町の 2 町は南部水道企業団に対して供給する）
※各市町村の地区によっては、供給元の浄水場が異なることもあります。

水管理センター



水管理センターは、平成 4 年度に県庁 12 階に設置されました。企業局の水に関する様々な情報を管理し、各市町村に必要な水量を効率的に供給するため、各浄水場の中核としての業務を行うとともに、緊急災害時における情報拠点としての中心的な役割を担います。





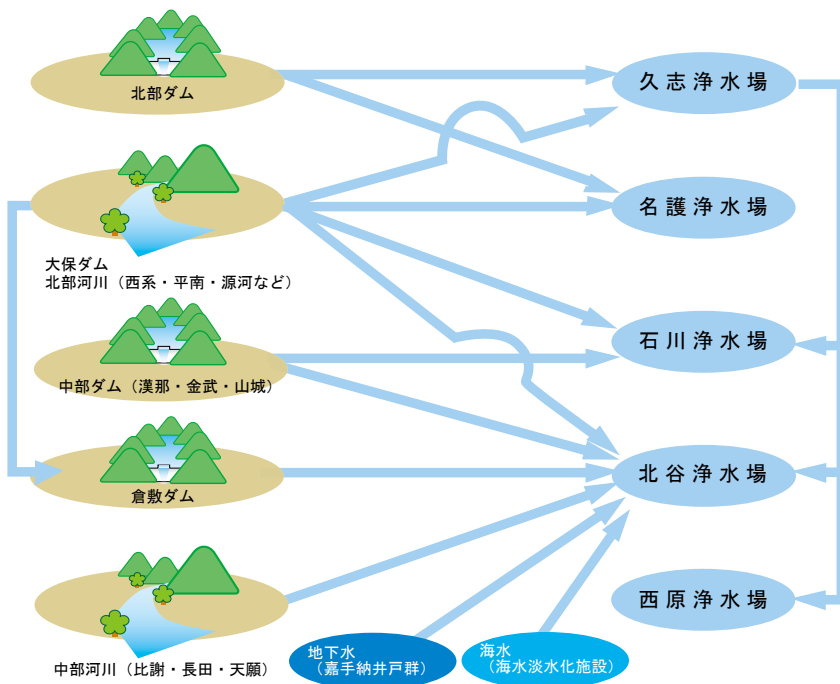
水づくりの流れ

私たちは、水道の蛇口をひねるだけで、きれいな水を自由に使うことができます。

さて、その水はどこから来るのでしょうか。

沖縄本島では、北部と中部の河川やダムなどから浄水場に運ばれ、その後、各市町村の配水池を経由して私たちの学校や会社、家庭へと届けられます。

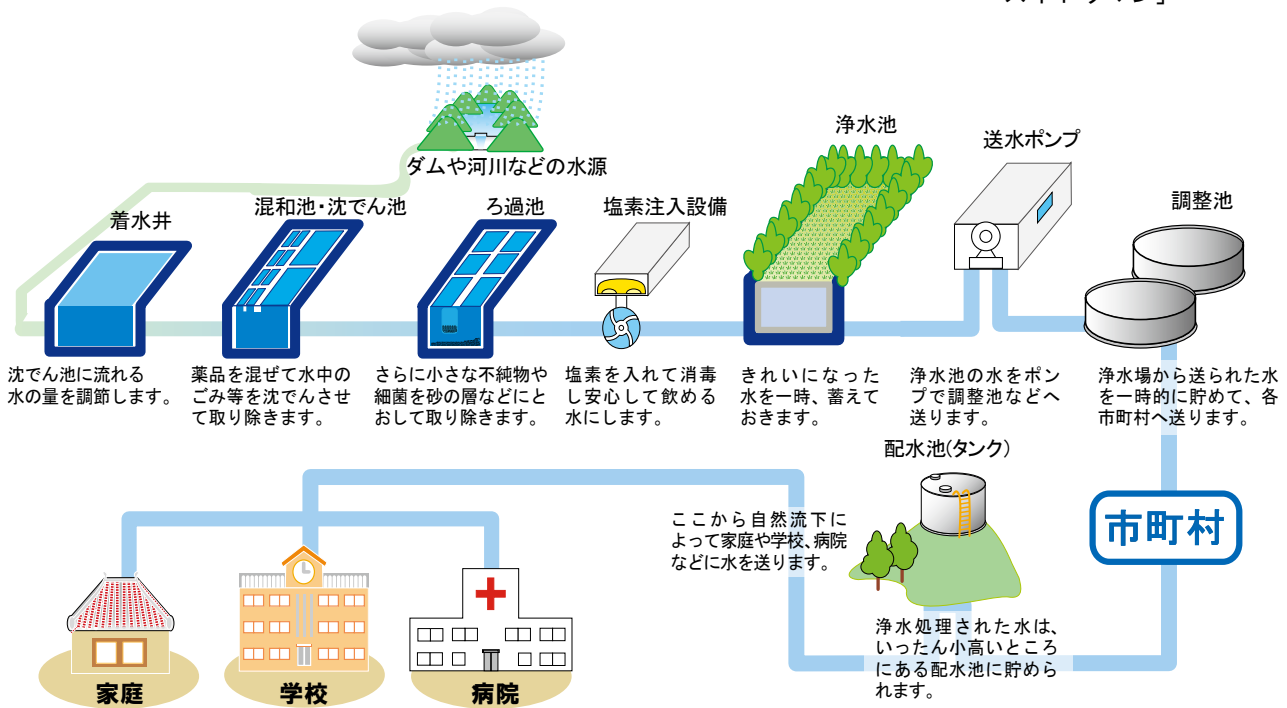
水の流れ



沖縄本島では、河川、ダム、地下水、海水の4種類の水源から取水し、浄水処理したあと、市町村をとおして県民の皆さまに安全で安心な水をお届けしています。



「スイドウマン」



沈でん池に流れる水の量を調節します。

薬品を混ぜて水中のごみ等を沈でんさせて取り除きます。

さらに小さな不純物や細菌を砂の層などにとおして取り除きます。

塩素を入れて消毒し安心して飲める水にします。

きれいになった水を一時、蓄えておきます。

浄水池の水をポンプで調整池などへ送ります。

浄水場から送られた水を一時的に貯めて、各市町村へ送ります。

ここから自然流下によって家庭や学校、病院などに水を送ります。

浄水処理された水は、いったん小高いところにある配水池に貯められます。



安全で安心な水のために

企業局では、安全で安心な水を供給するために、塩素処理副生成物であるトリハロメタンを大幅に低減する高度浄水処理や、水の硬度を低減する硬度低減化施設を導入しています。

なお、高度浄水処理には水道水のカビ臭等の異常な臭味を除去する効果も確認されています。

残留塩素については、水道水を安全、衛生的に保つために必要ですが、濃度が高いとカルキ臭として水に違和感を与える原因となります。企業局では、各市町村の水道局と連携をとり、水道水における残留塩素の低減に努めています。



浄水場の水質検査結果 (検査結果は法令等で定められた基準値にすべて適合しています。)

項 目	基準値	名護浄水場	石川浄水場	北谷浄水場	西原浄水場
一般細菌 (個/ml)	100個/ml以下	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
総トリハロメタン (mg/L)	0.1mg/L以下	0.016	0.022	0.012	0.019
ナトリウム及びその化合物 (mg/L)	200mg/L以下	19.9	18.0	32.7	17.8
塩化物イオン (mg/L)	200mg/L以下	32.7	29.8	38.5	29.4
カルシウム、マグネシウム等(硬度) (mg/L)	300mg/L以下	48	32	104	32
pH値	5.8以上8.6以下	7.4	7.4	7.4	7.4
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度 (度)	5度以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
濁度 (度)	2度以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満

*久志浄水場は、一次沈でん処理場であるため除いています。

*掲載している値は各浄水場出口の平成25年度の平均値です。

水質検査結果については、毎年水質年報を発行しており、各市町村水道事業体や図書館などの公共機関に送付しています。また、詳しい情報は、企業局ホームページでもご覧になれます。

トピックス

おいしい水とは？

「おいしい水」の条件には個人差がありますが、次のような水質的な条件があります。

- 蒸発残留物 主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦み、渋みなどが増し、適度に含まれると、こくのあるまろやかな味がします。
- 硬 度 ミネラルの中で量的に多いカルシウム、マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水はくせがなく、高いと好き嫌いができます。カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦みを増します。
- 残 留 塩 素 濃度が高いと、カルキ臭として水に違和感を与えます。
- 水 温 飲むときの水温が適度に冷たいと、おいしく感じます。



工業用水の水質基準

現在、久志浄水場で沈でん処理した水を各工場などへ送水しています。工業用水の水質基準は下表のとおりです。(沖縄工業用水道供給規程より)

水温	濁度	pH	アルカリ度	硬度	蒸発残留物	塩素イオン	鉄
常温	20度以下	6.5 ~ 8.0	75mg/L以下	120mg/L以下	250mg/L以下	80mg/L以下	3.0mg/L以下



さらに進んだ水づくり



高度浄水処理施設

北谷浄水場

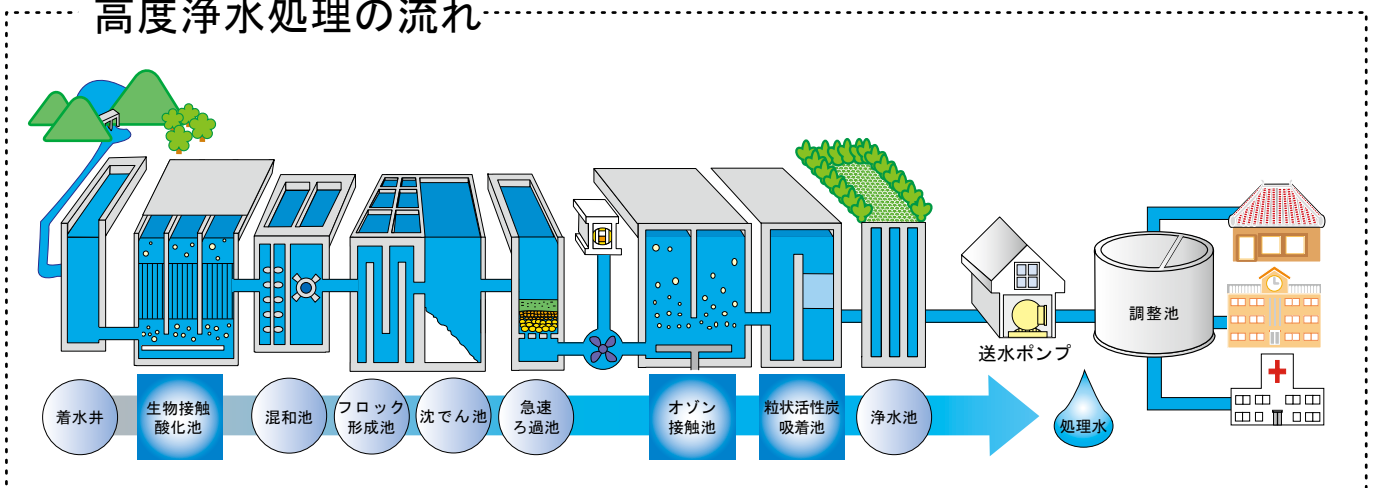
北谷浄水場の水源の一部になっている比謝川や長田川、そして天願川は、かつて、水質が年々悪化していたため、通常の処理工程では対応が困難となっていました。

そこで、特に北谷浄水場では、沈でん・ろ過・塩素処理の工程で行われる通常の浄水処理に、河川の自浄作用を浄水処理に応用した「生物処理 (*1)」、オゾンの酸化作用によりトリハロメタン生成 (*2) の原因となる有機物を分解する「オゾン処理」、活性炭の持つ優れた吸着能力を利用した有機物などを吸着する「粒状活性炭処理」の3つからなる高度浄水処理施設を導入し、より安全で安心な水づくりに努めています。

(*1) 平成16年度より生物接触池のプロフを停止中。

(*2) 水道水の原水中には、有機物がごくわずかに含まれています。これに消毒剤として塩素を注入すると、塩素は有機物と反応してトリハロメタンを生成します。

高度浄水処理の流れ



硬度低減化施設

北谷浄水場

沖縄本島中部地域にある嘉手納井戸群や天願川、比謝川などの水道水源は、一帯の石灰岩質の影響を受け、硬度が高くなっています。これらの水道水源は、北谷浄水場に導水されるため、北谷浄水場システムの送水区域は、硬度の高い水となっていました。

そのため、企業局では硬度平準化対策の一環として、井戸水を対象にした硬度低減化施設を整備し、平成15年6月から、硬度を低減して水を供給しています。

- (写真左上) 硬度低減化施設全景
- (写真左下) 反応塔
- (写真右上) 硬度低減化により除去されたカルシウム等の硬度成分の粒「生成ペレット」
- (写真右下) ペレットを再利用した歩道の舗装材



沖縄県では、これまでダム開発をはじめとする水源開発を進めてきましたが、人口や観光客の増加、気象条件の変化によって、たびたび水不足に悩まされてきました。

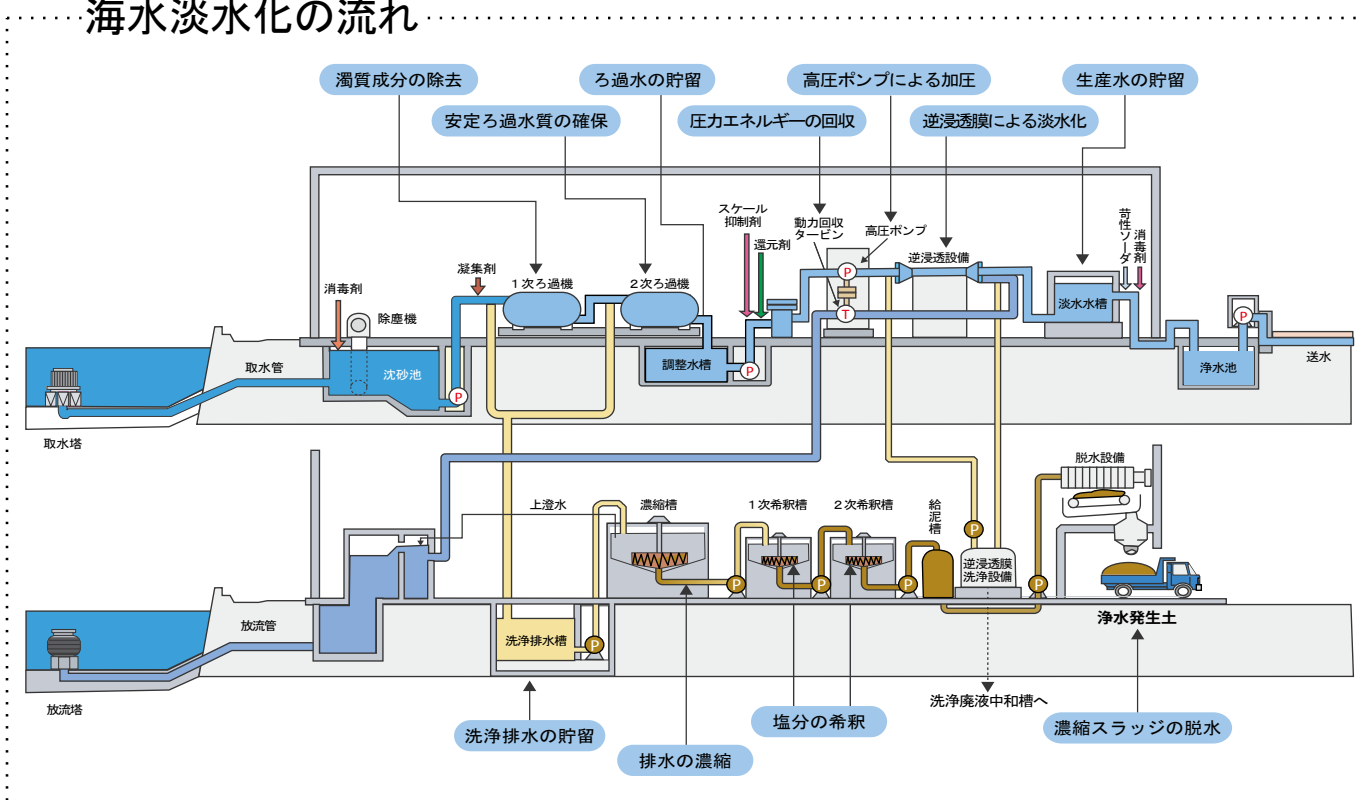
そこで、企業局では無尽蔵にある沖縄の美しい海から、天気左右されずいつでも水を生産することができる、海水淡水化施設を建設しました。

同施設では、平成9年4月から、1日あたり4万m³の水を生産することが可能となりました。



(写真)
海水淡水化施設の心臓部にあたる逆浸透設備

海水淡水化の流れ



〈広告〉

沖縄

北谷の塩
あやたん



沖繩北谷自然海塩株式会社

人に優しく、環境に優しく、地球に優しく
Okinawa Chatan Salt

〒904-0113 沖縄県中頭郡北谷町字宮城1番地650

代表取締役社長 安里 正男

TEL.(098)921-7547 FAX.(098)921-7628



企業局主要事業

新石川浄水場高度浄水処理施設建設事業

建設後約 40 年以上が経過し、老朽化が進んでいた旧石川浄水場に替わって、うるま市石川東恩納地先の埋立地に 1 日あたり 16 万 5,600m³ の施設能力を持つ新石川浄水場を建設し、平成 23 年 11 月から供用を開始しました。

新浄水場の建設と併せて、原水や水道水の貯留安定化を図る原水調整池や浄水調整池などの施設も整備され、現在はトリハロメタン低減化対策として今後の水源水質に適切に対応するため、高度浄水処理施設の整備を進めています。

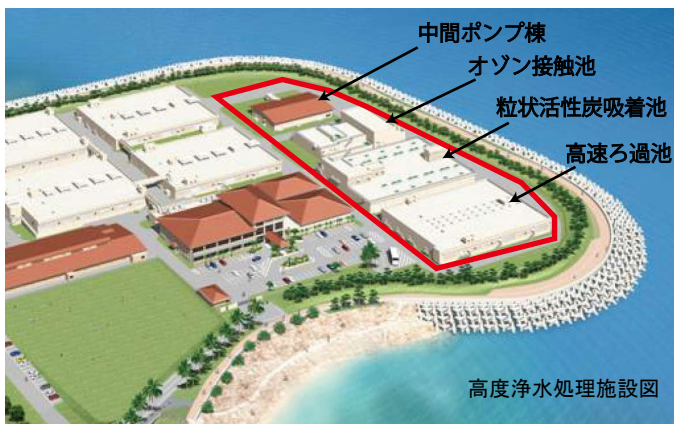
これらの施設により、安全で安心な水を、より安定的に供給することが可能となります。



新石川浄水場建設状況(平成26年9月撮影)

● 石川浄水場の高度浄水処理工程

石川浄水場の高度浄水処理は、現在運用している通常処理（沈でん・ろ過処理）を経たあとに、オゾン処理、活性炭処理を行い、トリハロメタン前駆物質の除去及び異味臭の除去を行います。最後に、砂ろ過による濁質等の除去を行い、浄水池へと運ばれます。



高度浄水処理施設図

● 中間ポンプ

通常処理した水をオゾン接触池へ移送します。

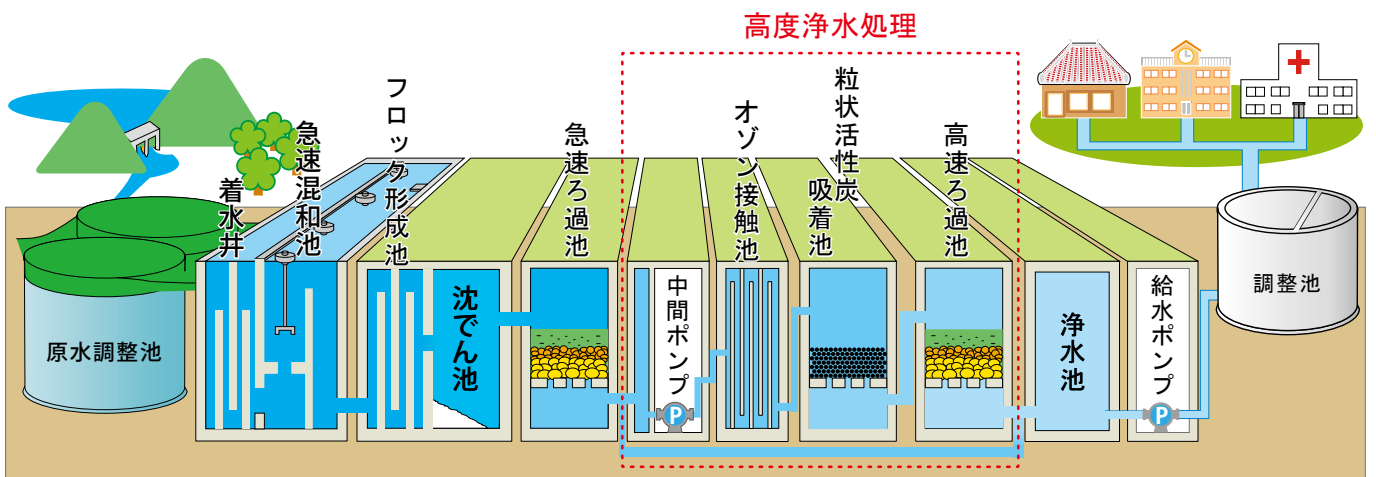
● オゾン接触池・粒状活性炭吸着池

トリハロメタン前駆物質の除去及び異臭味（カビ臭等）を除去します。

● 高速ろ過池

水に混ざっている不純物等を砂の層でろ過し、除去します。

石川浄水場 高度浄水処理の流れ



北谷浄水場施設整備事業

北谷浄水場は、沖縄本島中南部に水道用水を供給する基幹浄水場として、昭和 62 年度に通常処理の供用を開始しています。以降、河川の水質汚濁に対応するための高度浄水処理施設、地下水の硬度対策としての硬度低減化施設の整備、水質基準等の改正に対応するため浄水処理の運用強化を図ってきました。

しかし、これらの対策に伴い、排水施設的能力不足や浄水処理の能力低下を招くなど、水処理上の問題が生じており、施設の整備を改めて行う必要があります。

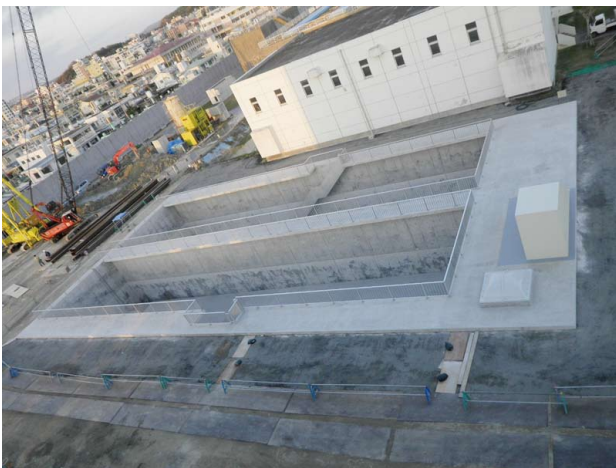
そのため、企業局では平成 21 年度から北谷浄水場の施設整備事業に着手しました。

この事業を進めるにあたり、水運用に支障を来さないよう各浄水場との連携により安定供給に配慮し、本事業を計画的に進めていきます。

北谷浄水場施設整備の主な内容

- 排水池排泥池の改良 : 沈でん池・ろ過池の洗浄排水処理力増強
- 送水ポンプの改良 : 浄水の送水能力増強
- 沈でん池の改良 : 沈でん処理能力の増強
- 浄水処理フローの見直し : より効率的な水処理方法へ

※上記内容は一部であり、本事業は北谷浄水場の場内施設全般を改良するものです。



排水池増設



沈でん池改良後(傾斜管)



ろ過池工事の状況

より安全な水づくりのため、施設の見直しは大切なことなんだね！





連続給水満20年を迎えて

水源に恵まれない本県では、かつて、毎年のように渇水に見舞われ、本土に復帰した昭和47年から平成6年まで、延べ1130日間に及ぶ給水制限を余儀なくされたこともありました。

しかし今日では、水源地域の理解や関係機関の尽力により、国の多目的ダム開発を中心とした多様な水源開発が進められた結果、安定的に水道水を供給できるようになっています。

平成26年3月1日、企業局は連続給水満20年を迎えました。企業局はこれからも、安全で安心な水を、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、持続的に利用できるよう、水道水の安定供給に努めます。

栓をひねると蛇口から水が出てくる状況が当然のことのように感じられる今日ですが、水は限りある資源であることを忘れず、県民の皆さまには水を大切に使用していただきますよう、ご協力をお願いします。



環境への取組

近年、地球温暖化への対応が緊急の課題として世界的に認識されるなど、環境への負荷は深刻化しており、環境問題は今日の重要課題となっています。

企業局が行っている「安全で安心な水を安定的に供給する」水道用水供給事業と製造業等への供給を目的とした工業用水道事業は、地球が育んだ水を資源とする、地球環境と深く結びついた事業であり、エネルギー消費産業としての側面も有しているため、地球温暖化防止対策、廃棄物の減量化や資源の有効活用など、環境への負荷軽減に積極的に取り組む必要があります。

企業局では、従来、浄水処理過程で発生する浄水場発生土については「産業廃棄物」として処理していましたが、平成4年度以降、グラウンド用土や園芸用土の原材料として売却することで、有効活用を図ってきました。

また、海水淡水化施設における使用済の逆浸透膜や硬度低減化により生成したペレット(※)、高度浄水処理で使用した粒状活性炭等の売却による有効活用、小水力発電施設の導入などにより、環境負荷の低減を行ってきました。

現在進めている第9次経営計画においては、「環境へ配慮した経営」を推進施策の一つとして位置付け、引き続き環境への取組を推進しています。

(※) 生成ペレットとは、硬度低減化により除去したカルシウム等の硬度成分の粒のことです。



浄水発生土がグラウンドの土として利用されている沖縄県総合運動公園

〈広告〉



株式会社 城間農場

土と肥料の専門店 (県知事許可番号 沖生肥第272号)

代表取締役 城間由規 Yoshiki Siroma

〒901-1203 沖縄県南城市大里字大城4番地
営業所 TEL098-946-8405 FAX098-946-8954
携帯 090-3192-6453
E-mail siroma-farm@otc.ne.jp

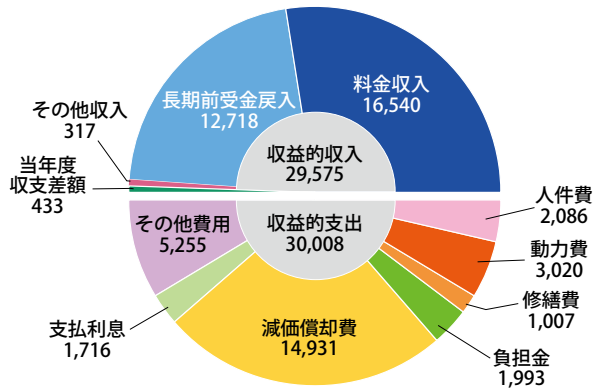


平成26年度予算



水道事業会計予算

単位：百万円



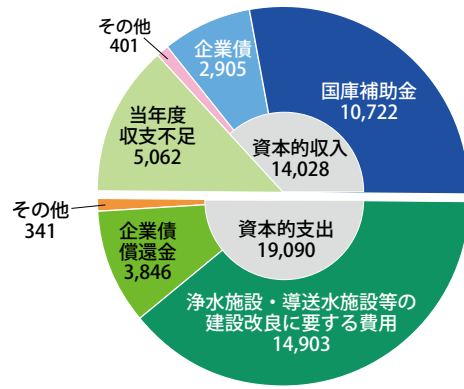
収益的収入及び支出（税込み）

水道用水供給事業は、県内 21 市町村及び 1 企業団に 1 日平均 41 万 m³ の給水を予定しています。

収益的収入は、全体で 295 億 7 千 5 百万円となっており、主な収入構成として、料金収入が 55.9%、長期前受金戻入が 43.0% を占めています。その他は、他会計補助金、預金利息等となっています。

収益的支出は、全体で 300 億 8 百万円となっており、主な費用構成として、減価償却費が 49.8%、動力費 10.1%、人件費 7.0%、負担金 6.6%、支払利息 5.7% となっています。

単位：百万円



資本的収入及び支出（税込み）

今年度の主要な建設改良事業として、導送水施設整備事業や北谷浄水場施設整備事業、石川浄水場高度浄水処理施設建設事業を推進していきます。

資本的収入は、全体で 140 億 2 千 8 百万円となっており、国庫補助金が 76.4% を占めています。

また、補助事業費の一部を自己財源で補うための企業債が 20.7% を占めています。

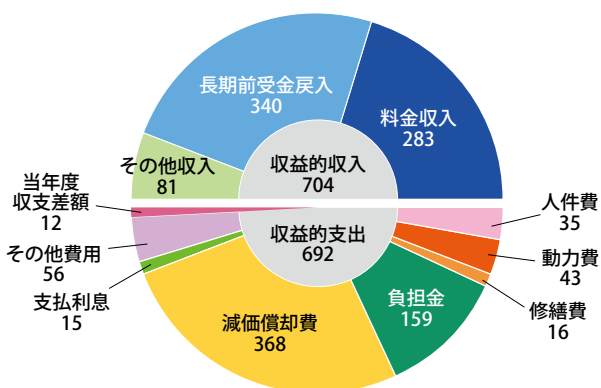
資本的支出は、全体で 190 億 9 千万円となっており、浄水施設・導送水施設等の建設改良に要する費用が 78.1%、企業債償還金が 20.1% となっています。

※資本的収支の収支不足額は内部留保資金等で補てんすることとしています。



工業用水道事業会計予算

単位：百万円



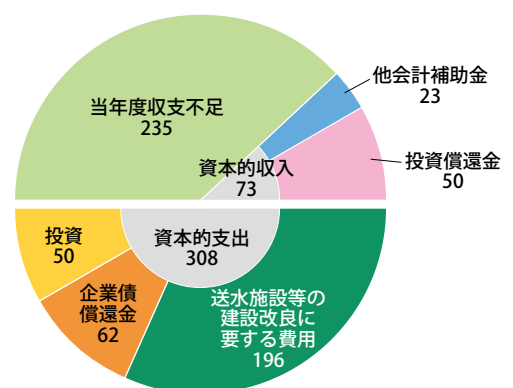
収益的収入及び支出（税込み）

工業用水道事業は、金武湾、中城湾港新港地区、糸満工業団地、名護西海岸地区等にある 95 事業所に 1 日当たり約 2 万 m³ の給水を予定しています。

収益的収入は、全体で 7 億 4 百万円となっており、主な収入構成として、長期前受金戻入が 48.2%、料金収入が 40.2% を占めており、その他は他会計補助金、預金利息等となっています。

収益的支出は、全体で 6 億 9 千 2 百万円となっており、主な費用構成として、減価償却費が 53.1%、負担金 23.0%、動力費 6.3%、人件費 5.1% となっています。

単位：百万円



資本的収入及び支出（税込み）

今年度の主要な建設改良事業として、小那覇増圧ポンプ場改良事業、糸満工業団地配水管布設事業を推進していきます。

資本的収入は、全体で 7 千 3 百万円となっており、投資償還金が 5 千万円、他会計補助金が 2 千 3 百万円となっています。

資本的支出は、全体で 3 億 8 百万円となっており、主な構成は送水施設等の建設改良に要する費用が 63.6%、企業債償還金が 20.1%、投資が 16.2% となっています。

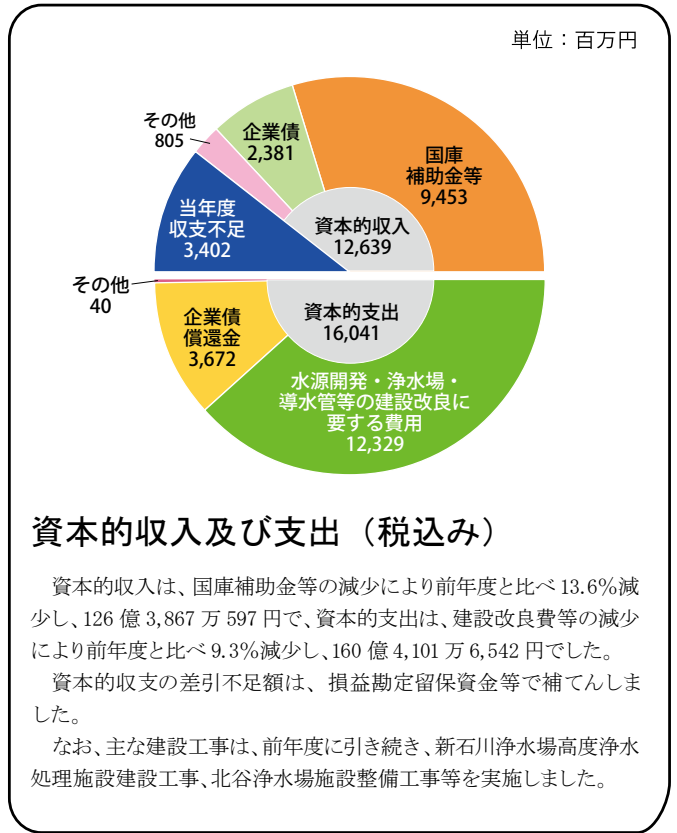
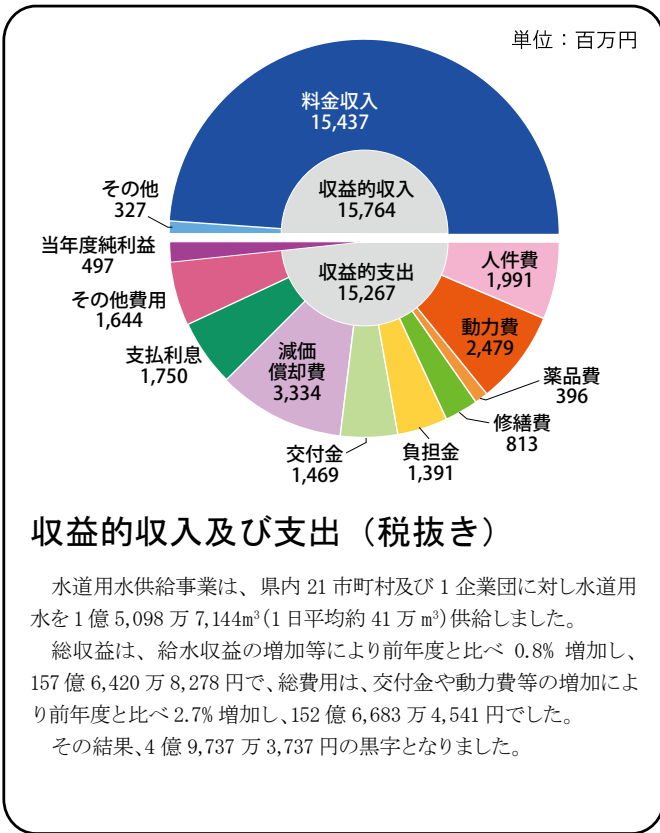
※資本的収支の収支不足額は内部留保資金等で補てんすることとしています。



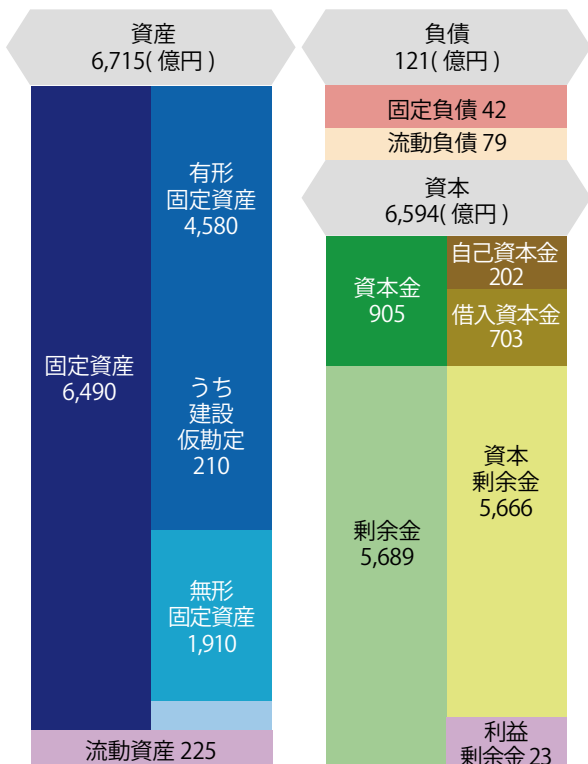
平成25年度決算



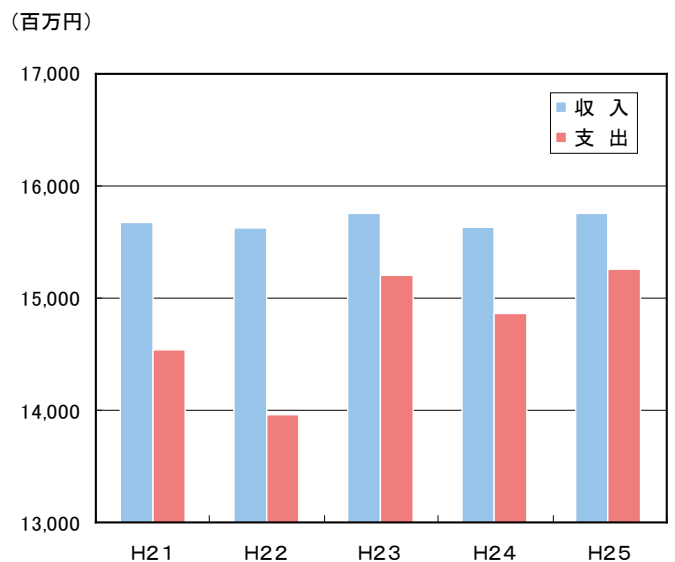
水道事業会計決算



貸借対照表（平成26年3月31日現在）



収益的収支の推移



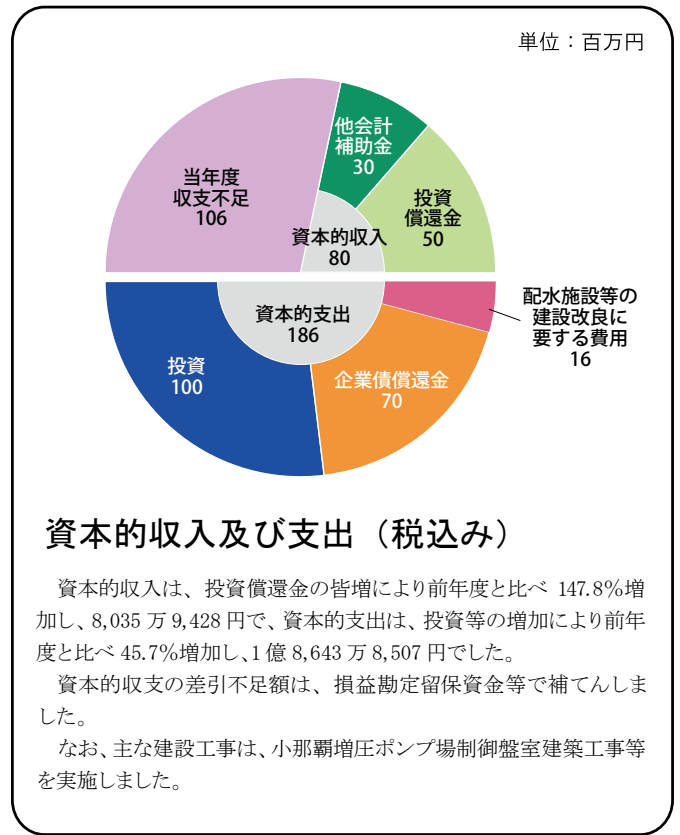
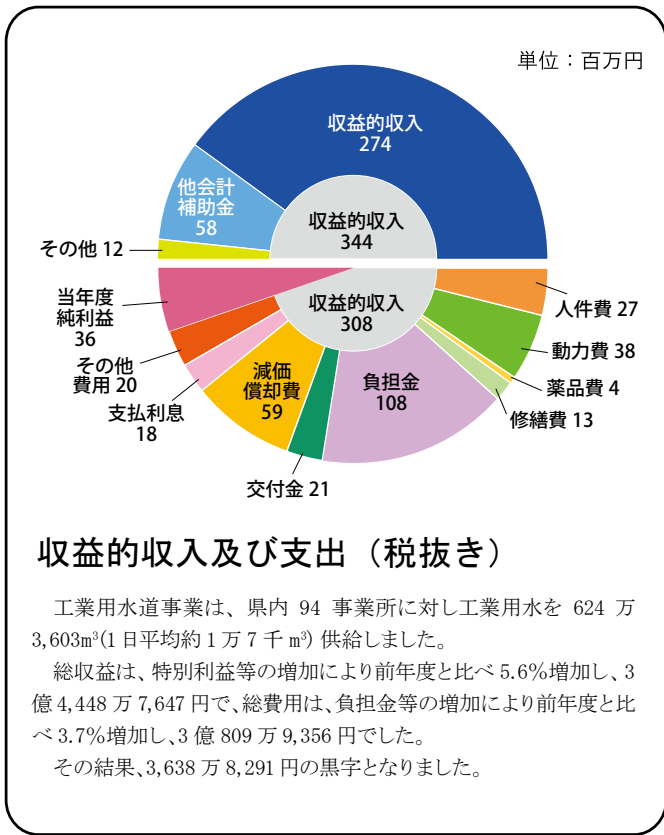
ここ数年の収益的収支は、給水収益が増減する中、人件費や支払利息等の費用の減少により、黒字となっています。

現在、経営計画の取り組みを推進し、費用の縮減に努めています。

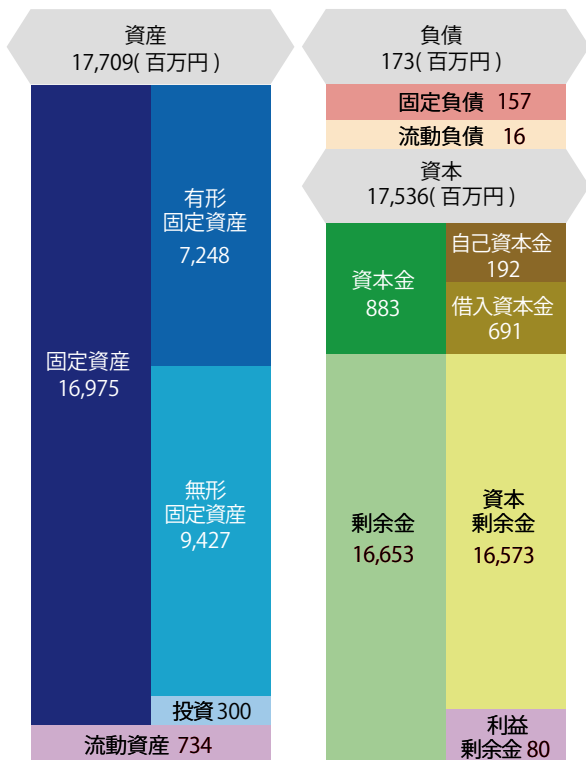
なお、平成23年度は、資産減耗費等の費用が前年度に比べて増加しました。



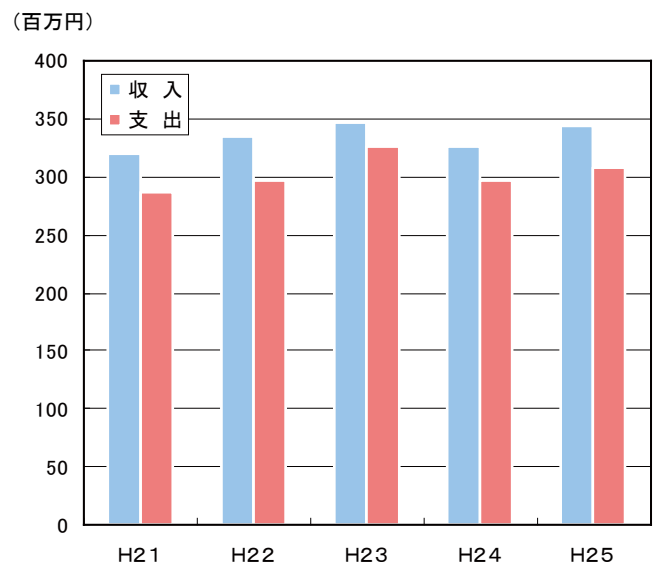
工業用水道事業会計決算



貸借対照表（平成26年3月31日現在）



収益的収支の推移



ここ数年の収益的収支は、契約水量の増加等により、黒字となっています。

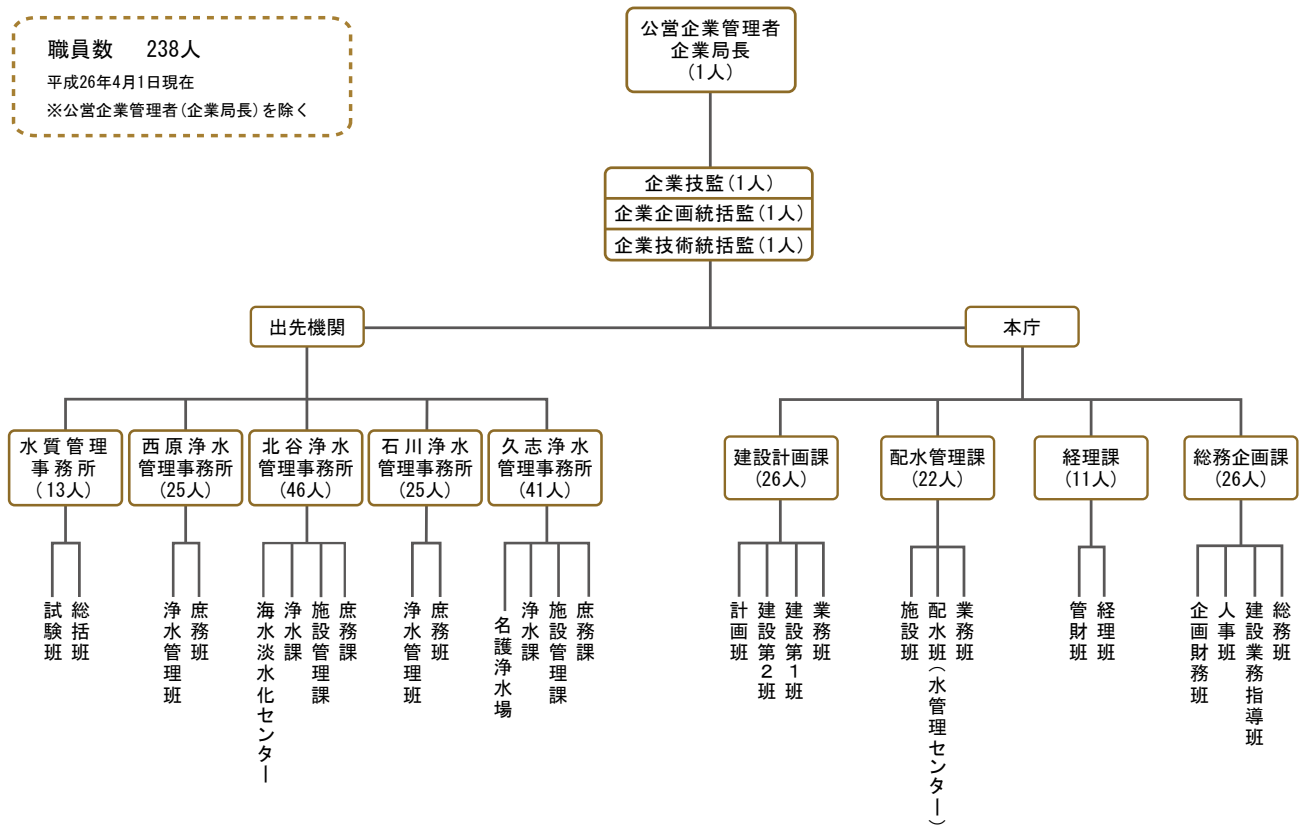
一方、現在も未売水が発生していることから、水道事業と連動した経営計画を推進し、関係機関と連携して需要開拓に努めています。

なお、平成23年度は、特別損失等の費用が前年度に比べて増加しました。



企業局組織一覽

職員数 238人
 平成26年4月1日現在
 ※公営企業管理者(企業局長)を除く



名称	所在地	電話番号	FAX番号
総務企画課	〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2(県庁12階)	098-866-2803	098-866-2819
経理課	〃	098-866-2154	098-866-2805
配水管理課 (水管理センター)	〃	098-866-2810	098-866-2811
建設計画課	〃	098-866-2814	098-861-5799
久志浄水管理事務所 (久志浄水場)	〒905-2173 名護市字久志1100	0980-55-2742	0980-55-2925
名護浄水場	〒905-0019 名護市大北3-28-36	0980-53-2633	0980-52-6214
石川浄水管理事務所 (石川浄水場)	〒904-1108 うるま市石川東恩納崎1	098-964-3257	098-963-0173
北谷浄水管理事務所 (北谷浄水場)	〒904-0113 北谷町字宮城1-27	098-936-7796	098-926-1591
海水淡水化センター	〃	098-936-5257	098-936-5276
西原浄水管理事務所 (西原浄水場)	〒903-0103 西原町字小那覇1336	098-945-4404	098-945-4455
水質管理事務所	〒904-1108 うるま市石川東恩納崎1	098-989-1012	098-989-1013

〈広告〉

FOR YOUR HAPPY TIME

Orion

沖縄には、
沖縄のビールがある。

ORION DRAFT BEER



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。

のんだあとはリサイクル **オリオンビール株式会社**

〈広告〉

安全に。
今日も確実に、

スイッチをつけると
照明が部屋を明るく照らす。
ボタンひとつでテレビがついて、
電子レンジは夕食を温めてくれる。
会社のパソコンが、工場の機械が、
人々の仕事を助け
暗くなると街灯は、いつの間にか
夜道をやさしく照らしている。
意識することなく
毎日の暮らしの中にある電気。
その電気を確実に
あなたのもとへ届けること、
それが私たちの仕事です。
毎日の暮らしの中で意識されないこと。
あたり前と感じてもらえること。
今日もスイッチをつければ
何事もなく明かりがつくこと。
それが私たちの誇り。
必要な人、待っている人、その暮らしの中へ



地域とともに、地域のために



〈広告〉

鉄のリサイクルを通して社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー



拓南製鐵株式会社

代表取締役社長 古波津 昇

本社	那覇市壺川3丁目2番地4	☎ 098-832-0588
新中城工場	沖縄市海邦町3番26	☎ 098-934-6822
石灰工場	名護市字安和2656番地2	☎ 0980-53-8018

〈広告〉

ホームページのことなら **アイアム**
Iam Design Network Corporation



ホームページのことなら **アイアム**
Iam Design Network Corporation

株式会社アイアム
〒900-0002 沖縄県那覇市曙 1-20-20 PHONE 098-860-6226

<http://www.iamdn.co.jp>



写真：第9回 沖縄の水デジタルフォトコンテスト入賞作品

表紙

最優秀賞「怒られるのは一緒だよ!!」長堂 麻美

裏表紙

1 段目左から 優秀賞「大地と水と光と」米田 恵子、 優秀賞「フレーフレーあまぐも」真栄城 久美子、 優秀賞「スクール」新盛 基史

2 段目左から 佳作「水浴びするシーサーの後ろ姿」小濱 里美、 佳作「雨かさ」山内 昌昭

3 段目左から 佳作「お水が出ないよー」前原 信一、 佳作「神に捧げる」新里 英治、 佳作「リゅう(流)」照屋 克征

編集・発行

安全・安心な水を届けます。

 **沖縄県企業局**

住所 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 (県庁12階)

電話 098-866-2803 E-mail info@eb.pref.okinawa.lg.jp

FAX 098-866-2819 URL <http://www.eb.pref.okinawa.jp>

このパンフレットは3,500部作成し、1部あたりの単価は70円です。 2014年10月発行

